

令和7年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)

1 予算概要

(単位：千円)

項 目	7年度 予算	6年度 予算	増△減	主 な 増 減 理 由
歳 入	547,821	542,072	5,749	
掛金収入	456,000	441,000	15,000	・会員2,500人増(見込み)による増
基金繰入金	0	0	0	
その他収入	1,645	1,030	615	・諸収入の増
他会計繰入金	20,381	19,829	552	・一般会計から(給与改定に伴う増)
前年度繰越金	69,795	80,213	△10,418	
歳 出	547,821	542,072	5,749	
事務費等 (旧総務費)	27,234	146,090	△118,856	・費目を分割し、旧総務費のうち、内部経費にかかる部分のみ計上
事業推進費 (費目新設)	124,266	0	124,266	・費目を新設し、旧総務費のうち、事業にかかる経費を計上
給付費 (旧給付事業費)	179,874	177,017	2,857	・慶弔金見込数の増、祝い品見込数の増
福祉事業費	215,427	209,755	5,672	・会員数の増による全体サービスの増
基金積立金	20	8,210	△8,190	・積立額の減
予備費	1,000	1,000	0	

2 事業概要

(1) 給付事業

結婚、出産、入学祝、結婚記念祝、傷病見舞金、死亡弔慰金、加入褒賞金
(5・10・15年)、小・中学校入学祝品・永年勤労祝品の8種類

(単位：千円)

項目	7年度予算		6年度予算		増△減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
慶弔金	17,250	155,960	17,015	152,520	235	3,440
祝品 (小・中学校入学、 永年勤労)	5,000	23,914	5,005	24,497	△5	△583
計	22,250	179,874	22,020	177,017	230	2,857

(2) 福祉事業

ハマふれんどで直接提供する事業と総合福利厚生サービス「ベネフィット
・ステーション」を組み合わせ、多様なサービスを提供します。

※ハマふれんど独自事業として提供するものは「独自」と表記、「ベネフィット・ステーション」で提供するものは「B・S」と表記しています。なお、施設数等は提供予定数です。

ア 余暇を有意義にするサービス

(ア) 宿泊補助（独自+B・S）

- 宿泊補助券 年間最大 10,000 円（@2,000 円×5 泊（人）まで）
- ・指定旅行会社での国内外ホテル、旅行商品等に対する利用補助
 - ・直接予約が可能な宿泊施設に対する利用補助
 - ・ハマふれんどで実施する宿泊イベントに対する利用補助
 - ・ベネフィット・ワン直営宿泊施設で使える割引券の提供
 - ・宿泊補助利用施設の拡充

(イ) 各種旅行ツアー等の優待あっせん（独自）

- ・指定会社の一般の日帰りツアーに対する利用補助（@1,000 円×5 回まで）
- ・ハマふれんど会員限定のバスツアーの実施と優待提供

(ウ) 各種チケットの優待あっせん（独自+B・S）

野球・サッカーを含む市内プロスポーツチームのスポーツ観戦、相撲、ミュージカル・歌舞伎・コンサート、美術館等の公演・展示会チケットの優待提供

(エ) 飲食店等優待価格での提供（独自+B・S）

- ・有名飲食チェーン店の商品券を優待提供（独自）
- ・市内ホテルレストランや共通飲食券の優待提供（独自）
- ・人気レストランを含む飲食店の優待提供（B・S）
- ・味覚狩り、そば屋等の割引補助券提供（独自）

(オ) 各種レジャー施設の優待利用提供（独自+B・S）

- ・ディズニーコーポレートプログラムの利用券の提供（@1,500 円×年 1 回）
- ・ディズニーサンクスフェスティバルの期間限定割引の提供
- ・市内レジャーや関東近郊のレジャー施設の優待提供（独自）
- ・映画館、全国レジャー施設、日帰り温泉、カラオケ等の優待提供（B・S）

イ 健康を促進するサービス

(ア) 人間ドック等健診の補助（独自）

会員と配偶者を対象に、健診機関での人間ドック・生活習慣病健診・脳ドック受診の優待利用提供

（人間ドック補助：会員と配偶者対象それぞれ年度内 1 回・各 5,000 円補助）

(イ) スポーツ大会の企画・開催（独自）

ソフトボール、フットサル、テニス大会、ゴルフコンペの大会の企画・開催

(ウ) スポーツ施設の優待あっせん（B・S）

スポーツクラブの優待利用提供

(エ) メンタルヘルス等相談ダイヤルの提供（B・S）

健康に関する無料相談ダイヤル設置

(オ) 健康オンラインセミナーの提供（B・S）

無料で提供。LIVE 配信以外にアーカイブ提供もあり。

ウ 生活を支えるサービス

(ア) 育児支援サービスの提供（B・S）

- ・託児所やベビーシッターの提携割引、育児用品・幼児教育の優待利用提供
- ・一時保育、月極保育等への育児補助金
- ・育児、託児についての無料相談ダイヤル設置

(イ) 介護支援サービスの提供（B・S）

- ・介護保険対象サービス、介護用品購入への補助

- ・介護用品の優待利用提供
- ・介護についての無料相談ダイヤル設置
- (ウ) 家事代行サービス補助及び優待サービスの提供（独自+B・S）
 - ・家事代行サービスへの補助（独自）
 - ・家事代行サービスの優待利用提供（B・S）
- (エ) 各種研修の企画・開催及び講座・セミナーの優待サービスの提供（独自+B・S）
 - ・新入社員セミナー等の企画・開催（独自）
 - ・横浜市技能文化会館主催の講座・セミナーの利用補助、優待利用提供（独自）
 - ・会員限定の無料オンラインセミナーの提供（B・S）
- (オ) 各種資格取得・スキルアップの支援（B・S）
 - ・eラーニングによるオンライン学習を無料で提供（2,000タイトル以上）
 - ・電子書籍（ビジネス書）が毎月5冊無料で読み放題（B・S）
- (カ) 出会いの場の設定及び支援（独自+B・S）
 - ・婚活恋活パーティー等の企画・開催（独自）
 - ・結婚相談所等の優待利用（B・S）
- (キ) その他優待サービスの利用提供（独自+B・S）
 - ・全国チェーン店の商品券（イオン、セブンイレブン等）の優待提供（独自）
 - ・レンタカー、クリーニング、引越し、家電量販店等の優待利用提供（B・S）
 - ・電子書籍、ネットショッピング等の優待利用提供（B・S）
 - ・ベネポポイントの交換サービスの提供（B・S）

エ その他事業者や会員及びその家族の福利厚生に寄与するサービス

- (ア) プレゼントキャンペーン企画の実施
 - ・アンケート、福袋、若手社員応援、LINE キャンペーン等の抽選プレゼント（独自）
 - ・ライフイベントのお祝いプレゼント企画、抽選会実施など（B・S）
- (イ) 障害者施設等との連携実施
 - ・ふれあいショップの割引補助券の提供
- (ウ) 長期加入者や若手社員に配慮した企画の実施
 - ・抽選でギフト券をプレゼント
- (エ) その他の企画
 - ・みなとみらい SUP 体験、ヨガ体験、森林ウォーク&森林セラピー、日本酒きき酒会、ワインセミナー、横浜や鎌倉ウォーキングなど体験型イベントの実施
（少人数で行うイベントはハマふれんどの会員同士で交流できるように工夫）

(3) ホームページの作成・設置・管理・運営

事業紹介、各制度の説明、会報誌 News の PDF 版の掲示、お知らせの掲示、会員証再発行の受付、お問合せ BOX の設置、チャットボットの AI 自動応答の設置、各種申請用の申請書ダウンロード、新規加入の資料請求の受付、オリジナル行事申込と B・S サイトへのログイン入口、イベント実施後のレポート掲載、担当者向けコラム掲載、加入事業所の紹介ページの掲載、有料広告の受付、担当者ポータルサイトの提供と更新（社内告知用ツールの提供※チラシ・メール雛形、名簿作成ツールのダウンロード、担当者向け情報提供、登録情報の掲示など）

(4) SNSでの情報発信

X（旧 Twitter）・LINE による情報発信（年間合計 240 件以上）

(5) 加入促進

ア 加入促進用パンフレットの作成及び配布

- イ 市内中小企業へのダイレクトメールの作成及び発送
- ウ 電話勧誘及び訪問勧誘の実施
- エ 市内事業者団体への働きかけ
- オ 加入事業所への新規加入事業所紹介制度の実施
- カ 交通機関のほか、加入促進に効果のある広告掲出
- キ 営業派遣等による加入企業への追加加入の促進やニーズ把握等の実施
- ク その他、新規加入会員数増加に効果のある活動

(6) ハマふれんどニュース・ガイドブック等の発刊

- ア 新規加入者に対する事務の手引書の作成及び発行（随時）
- イ 加入者に対する令和7年度ガイドブックの作成及び発行（4月）
- ウ 次年度（令和8年度）のガイドブックの作成準備
- エ 加入者に対する「ハマふれんどニュース」の作成及び発行（偶数月及び7月、1月計年8回）
- オ 加入促進用パンフレットの作成及び発行（随時）

(8) 会員ニーズ等の把握

- ア 福祉事業関連業務の応募や利用の状況、競争率等のデータの把握
- イ 事業についてのアンケートを実施
- ウ サービス利便性等のための検討

【参考：会員数の状況】

1 会員数の推移

	各年度3月現在の加入者数		対前年度増減	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
2年度	4,414 社	71,358 人	△58 社	2,359 人
3年度	4,369 社	71,353 人	△45 社	△5 人
4年度	4,356 社	72,741 人	△13 社	1,388 人
5年度	4,338 社	75,224 人	△18 社	2,483 人
6年度	4,362 社	77,281 人	24 社	2,057 人

2 新規加入者数の推移

	新規加入者数（年間）		増△減（対前年度）	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
2年度	143 社	1,350 人	△35 社	△1,053 人
3年度	135 社	1,850 人	△8 社	500 人
4年度	180 社	1,853 人	45 社	3 人
5年度	154 社	2,411 人	△26 社	558 人
6年度	169 社	2,827 人	15 社	416 人

3 脱退者数の推移

	脱退者数（年間）		増△減（対前年度）	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
2年度	201 社	971 人	2 社	233 人
3年度	180 社	2,150 人	△21 社	1,179 人
4年度	193 社	1,112 人	13 社	△1,038 人
5年度	172 社	1,262 人	△21 社	150 人
6年度	145 社	1,061 人	△27 社	△201 人